南　風

田富南小校長通信
No. 20　2月9日（金）

2月になりました。

つい先日令和6年が始まったと思っていたのですが、気が付くともう2月になりました。暖冬（だんとう）といわれているこの冬も、5日（月）から6日（火）にかけて雪が降り、見慣れた学校周りの景色も一瞬にして水墨画（すいぼくが）のような景色になってしまいました。周りを見ると梅の花が咲いたり、桜の蕾（つぼみ）も膨らみ始めて春の準備が始まってきた頃になったのですが、寒さが一段と厳しく感じました。2月の別名が「如月（きさらぎ）」であり、古来「着て更（さら）に着る」から「着更着（きさらき）」や、「衣更着」とも書くことから1年間のうちで一番寒い時季ということを表している意味を感じました。一方で陽気が更にやってくるので気更来（きさらぎ）という説や、草木の芽（め）がふくらみ出すという意味の草木張月（くさきはりづき）が変化したとも。他には「雪解け月」「梅見月」「令月（れいげつ）」とも言うとのこと。寒さの底の時季ですが、それでも確実に春を迎える準備が始まっているのだと思います。

新入児童保護者説明会（しんにゅうじどうほごしゃせつめいかい）と授業参観・学年部会

2月1日（木）に6年生が田富中学校へ「新入生保護者説明会」に出席した翌日に、田富南小学校令和6年度「新入児童保護者説明会」を行いました。毎年行っているのですが、新入児童が小学校に入学するにあたって小学校の生活やきまり、登下校時を中心とした交通安全などのお話を市役所の担当の方を始め、それぞれの担当からしてもらいました。令和6年度の新入児童は26名となります。4月4日（木）に元気に入学してくるのを楽しみにしています。

また、2月6日（火）から各学年の授業参観・学年部会を行っています。子どもたちの授業での様子を見ていただき、その後、学校から児童の成長した様子や課題についてお知らせしたり、1年間のまとめを行い、来年度に向けての役員さんを決めたりしています。短い時間ですが、学校に来ていただき、ありがとうございます。

能登半島地震の支援への募金

令和6年が静かに明けたと思った元日の夕方、能登半島を中心として大きな地震が発生。1ヶ月たった今でも多くの方々が避難生活を強いられています。少しずつ復旧は行われていきますが、時間がかかってしまうことは間違いないです。誰もが何かしら手を差し伸べて復興への協力をしたいと考えていますが、実際に現地へ行くこともままならない状況です。それでも少しでも支援をおこなうために、中央市役所の職員さんも支援活動に現地へ出かけています。また、山梨県下の小中学校でも支援のために募金活動を行いました。南小も1月9日から2月2日までに64、026円の募金が集まり金曜日に教育会館に届けました。（別に先生方からも27、000円の募金がありました。）少しでも早く復興が進むように、これからも支援を続けていきたいと考えています。

ありがとうございます。

2月5日から6日にかけての降雪。暖冬だから、そんなには降らないだろうと高を括っていたのですが、何とも約10cmもの降雪が。5日には午後の授業をカットして下校。6日の登校を2時間遅らせて安全の確保を行いました。

先生たちも、6日には朝早くから学校へ来てもらい、子どもたちの通学路の雪かきを行いました。そんな時に、南小の正面（南門）の歩道の雪かきを、地域の方が行ってくださいました。（また、用水路工事の建設会社の方も朝、登校前に一部通行止めの区間の歩行者通路部分の雪かきを行ってくださいました。また午後になって歩道の雪かきをしてくださり、塩カリも撒いてくださいました。）先生たちもあちこちに分散して雪かきをしていたので、先生方が児童玄関から南門への雪かきをしていて時には、既にいらっしゃらなくて、お礼を言えませんでした。「地域とともににある学校」である以上、学校だけでなく地域の方々にも協力していただくことが大切です。ちょっとしたお心遣いですが、大変ありがたかったです。ありがとうございました。

「中央市教育の日（まごころの日）」について

2月20日を「中央市教育の日、まごころの日（中央市の教育の基本）」と制定しています。

毎年2月20日は、わたしたちが暮らしている中央市が誕生した日です。昔の田富町、玉穂町、豊富村が一緒になり、中央市となりました。

中央市の「中央」は、甲府盆地の中央、山梨県の中央、日本の中央の意味があります。また、中央市の「中」には「こころ」、「央」には「求める」という意味もあります。みんなで力を合わせ、知恵を出し合い、わたしたちの暮らす中央市がよりよくなるようにしていきたいと考えます。そして、うそやいつわりのない心である「まごころ」を大切に、優しさや思いやりの気持ちにあふれた中央市にしていきましょう。（抜粋）